

令和 2 年 1 月 3 1 日

内閣府規制改革推進室御中

株式会社 プレナス

規制改革推進会議 農林水産ワーキング・グループにおける
プレナスの玄米品質検査について

■農産物検査を重視しているか

- ・年産、銘柄、うるち玄米である事の保証という点で重視している。
- ・検査請求者（代理人含む）により、玄米の追跡が出来るという点で重視している。
- ・整粒比率や被害粒、異物混入率、水分値については、自社検査を行っている為、等級については、あくまで参考にしてしている程度である。

■農産物検査以外のどのような項目について自社検査を行っているか

- ・味度 ・搗精度 ・黄色度 ・白度 ・残芽率 ・水浸割粒 ・炊飯後食味調査
(外観・香り・粒感・口当たり・味・総合)

■農産物検査に追加すれば活用できるような項目はあるか

- ・項目としては特になし。
- ・整粒、その他被害粒の詳細数値。

■ほっともっと・やよい軒で米の規格はどのように異なっているか

- ・基本的にやよい軒では 2 銘柄をブレンド、ほっともっとでは冷めても美味しい米という観点から経時劣化に強いお米を含む 3 銘柄をブレンドしている。

■農産物検査に関する意見

- ・各都道府県により検査基準が異なり、農産物検査時の数値(等級基準値)と自社内で検査した際の数値に乖離が生じてしまう為、自社検査は必須になります。農産物検査の等級は、この点(検査基準のばらつき)を解消出来ない限り、安心・安全の保証という点を除き、実需者にとり、あくまで参考程度に留ってしまいます。